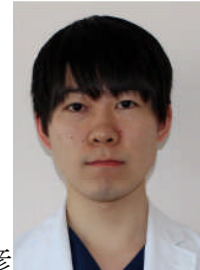


和歌山病院での研修を終えて



西谷 雅彦

今回和歌山病院で3週間実習をさせて頂き、どうもありがとうございました。南方院長、駿田副院長、事務の龍田さんをはじめとしてみなさんから気軽に声をかけてもらい、指導して頂きとても有意義な実習をおくることができました。

自分は5年生の呼吸器内科のポリクリの一環で2日間和歌山病院に来ており、南方先生などの先生方に優しく指導して頂いたことが印象的で、大学の外の市中病院で選択ポリクリを有意義に過ごせたらと思い選びました。

今回は3週間、呼吸器内科で結核の入院患者を担当症例として勉強させてもらい、一般的な病院では経験できない貴重な経験が出来ました。その中でも3週間しっかり患者を診ることで、治療がうまく進んでいないときに患者さんの状態を見ながらどのように治療方針を考えていくかじっくり考えることが出来ました。そして先生にも患者の容態や検査・治療方針に関して気軽に相談することが出来ました。その他には、毎回のカンファレンスに参加させて頂いたり、胸部レントゲン画像の見方、回診や外来で呼吸音の聴診、ルートや血ガスの取り方を教えていただき大変勉強になりました。特にルートを取る練習に関しては何度も優しく教えて頂き感謝しています。

そして今回初めて大学病院以外の病院の内科で実習を行ったので、外来や入院される患者の症例の違いを実感し、大学病院と町の病院との役割の違いを知ることが出来ました。この経験は自分が医師になって働く際にしっかり理解しておく必要があると感じました。これらの経験を役立ててしっかりと患者さんのために貢献できる医師となれるように努力していきたいです。どうもありがとうございました。